### 2023年 3 月期 第 1 四半期





注)当社は第1四半期において決算説明会を行っておりません。 この資料は、2023年3月期第1四半期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

### 本資料の記載内容

1. 第1四半期の実績	• • •	P. 2
2. セグメント別業績	• • •	P. 12
3. 業績予想	•••	P. 32
4. 配当	•••	P. 36
5. 中期経営計画	•••	P. 38
6. 会社概要	• • •	P. 45

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

# 第1四半期の実績 1-1. 連結損益計算書

#### 1-1 業績ハイライト(前年同期比)



【売上高】レンタル事業:㈱アーネストにてワクチン職域接種会場運営の受注好調により増加

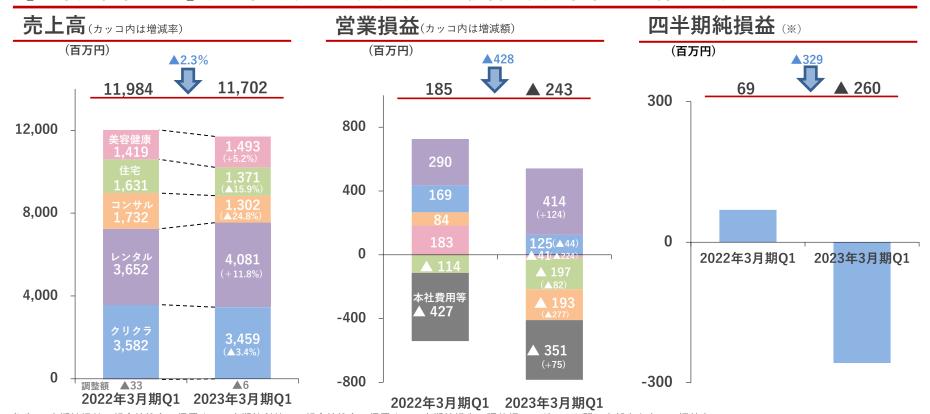
建築コンサルティング事業:建築費高騰やコロナ関連融資の返済開始等、

コンサルティング部門の顧客の購買力低下により減少

【営業利益】建築コンサルティング事業:売上総利益率の高いコンサルティング部門における 売上高減少に伴い減少

美容・健康事業:新規顧客獲得の好調に伴う広告費の積極運用前倒しにより減少

【四半期純利益※)】売上高減少や販売費及び一般管理費の前倒しに伴い減少

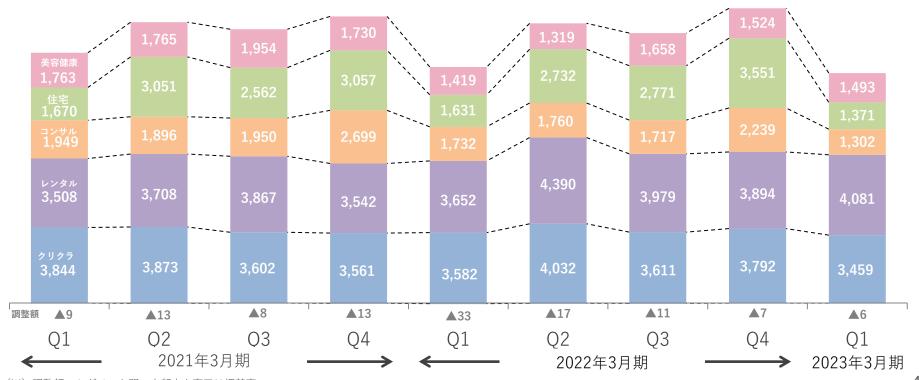


### 1-2 四半期別 売上高/営業利益の四半期推移



売上高								(百万円)
12,727	14,281	13,927	14,577	11,984	14,218	13,727	14,993	11,702
営業利益								
211	614	871	1,084	185	848	856	871	<b>▲243</b>

売上高四半期推移



### 1-3 連結損益計算書



					(百万円)
			2023年3月期 Q1実績	2022年3月期 Q1実績	増減率
売	Ŀ	高	11,702	11,984	<b>A</b> 2.3%
売	上 総 利	益	6,077	6,197	<b>1.9%</b>
(	売 上 総 利 益 率	)	51.9%	51.7%	+ 0.2pt
販	売 費 及 び 一 般 管 理	費	6,321	6,012	+ 5.1%
営	業  利	益	▲ 243	185	_
(	営 業 利 益 率	)	<b>▲ 2.1</b> %	1.5%	▲ 3.6pt
営	業外損	益	12	<b>A</b> 9	_
経	常利	益	▲ 230	175	_
特	別 損	益	▲ 0	60	_
親会	会社株主に帰属する四半期純利 は親会社株主に帰属する四半期純損	」益 員失	▲ 260	69	_



						2023年3月期 Q1実績	2022年3月期 Q1実績	(百万円) 前年同期比
11								
<b>7</b>	IJ	9	ラ	事	業	3,459	3,582	▲ 123
L	ン	タ	ル	事	業	4,081	3,652	+ 429
建	築 コ ン	, サル	ティ	ン グ 事	事 業	1,302	1,732	▲ 429
住		宅	事		業	1,371	1,631	▲ 259
美	容	•	建康	事	業	1,493	1,419	+ 73
消	去	i	书	整	他	▲ 6	▲ 33	+ 27
合					計	11,702	11,984	▲ 281

### 1-5 セグメント別営業利益



								(百万円)
						2023年3月期 Q1実績	2022年3月期 Q1実績	前年同期比
þ	IJ	7	ラ	事	業	125 (3.6%)	169 (4.7%)	▲ 44 (▲ 1.1 pt)
L	ン	タ	ル	事	業	414 (10.2%)	290 (8.0%)	+ 124 (+ 2.2 pt)
建	築 コ ン	, サ ル	ティ	ング	事業	▲ 193 (▲ 14.8%)	84 (4.9%)	▲ 277 (▲ 19.7 pt)
住		宅	事		業	▲ 197 (▲ 14.4%)	▲ 114 (▲ 7.0%)	▲ 82 (▲ 7.3 pt)
美	容	•	建 康	事	業	▲ 41 (▲ 2.7%)	183 (12.9%)	▲ 224 (▲ 15.6 pt)
全	社	費	Ę	用	等	▲ 351	▲ 427	+ 75
合					計	▲ 243 (▲ 2.1%)	185 (1.5%)	▲ 428 (▲ 3.6 pt)

### 1-6 営業利益の増減要因(前年同期比)



- ≫ 売上総利益:建築コンサルティング事業での売上高減少に伴い減少
- ≫ 広告宣伝費及び販売促進費:美容・健康事業での積極的な広告投資の前倒しおよび、 クリクラ事業における新CMにより増加

													(百万円)
													前年同期比増減率
2022年3月期Q1	営業利益											185	_
売上総利益の増減												▲ 119	▲ 1.9%
	人				ſ	<b>4</b>					費	▲ 0	▲ 0.0%
	広岩	告 宣	伝	費	及	び	販	売	促	進	費	▲ 277	<b>▲</b> 41.9%
販売費及び 一般管理費の増減	地			代			汀	ζ			賃	▲8	<b>▲</b> 2.1%
	減(位	<b>西</b> 償	却	費	•	の	れ	٨	償	却	額	▲ 10	▲ 5.1%
	7	の		ft	3	!	販		管		費	<b>▲</b> 11	▲ 0.5%
2023年3月期Q1	営業利益											▲ 243	_

# 第1四半期の実績 1-2. 連結貸借対照表

### 1-7 連結貸借対照表 資産の部



≫ 流動資産:現金及び預金 ▲3,439 販売用不動産 +596 未成工事支出金 +500

≫ 固定資産:特記事項無し

					(百万円)
	2023年3月期 Q 1	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動資産	22,889	61.5%	25,091	63.2%	▲ 2,201
有形固定資産	8,605	23.1%	8,720	22.0%	▲ 115
無形固定資産	1,772	4.8%	1,890	4.8%	▲ 118
投資その他の資産	3,957	10.6%	4,022	10.1%	▲ 64
固定資産	14,335	38.5%	14,633	36.8%	▲ 298
資産合計	37,224	100.0%	39,724	100.0%	▲ 2,499

### 1-8 連結貸借対照表 負債の部・純資産の部



≫ 固定負債:未払法人税等 ▲637 長期借入金 ▲394 賞与引当金 ▲319

≫ 純資産 :利益剰余金 ▲917 その他有価証券評価差額金 ▲104

					(百万円)
	2023年3月期 Q 1	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動負債	11,651	31.3%	12,576	31.7%	▲ 925
固定負債	4,529	12.2%	5,009	12.6%	<b>▲</b> 479
負債合計	16,180	43.5%	17,585	44.3%	<b>▲</b> 1,404
株主資本	21,710	58.3%	22,627	57.0%	<b>▲</b> 916
その他の包括利益累計額	▲ 666	<b>▲</b> 1.8%	▲ 563	<b>▲</b> 1.4%	▲ 103
非支配株主持分	_	_	74	0.2%	<b>▲</b> 74
純資産合計	21,044	56.5%	22,138	55.7%	▲ 1,094
負債・純資産合計	37,224	100.0%	39,724	100.0%	▲ 2,499

# 2. セグメント別業績2-1. クリクラ事業



注) 直: 直堂店 加: 加盟店

【売上高】直)顧客件数は微増も、在宅時間減少で消費ペースが緩やかになったことで減少加) 感染症長期化に伴う加盟店での営業鈍化および、

サーバー販売価格改定に伴う前期末の駆け込み需要からの反動減により減少

【営業利益】直・加)売上高減少および、新CM「クリクラあんしん宣言」の実施による 販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減少

			/工/ 巨·巨口/I // // // // // // // // // // // // /
売上高			(百万円)
	3,844	3,582	3,459
営業利益			
	491	169	125

#### 売上高推移



### 2-1b クリクラ事業 売上高/営業利益の四半期推移





### 2-1c クリクラ事業 第52期以降の重点施策



- ≫ 顧客件数の拡大 ⇒各種販売チャネル強化をはじめとしたあらゆる顧客獲得策の実行
  - ⇒新商品・新サービスの開発・提供
  - ⇒サービス品質向上、SNS活用、CRM強化等
  - ⇒新CM「クリクラあんしん宣言」の配信
  - ⇒システムインフラ「CrePF(クリクラプラットフォーム) | の実証
- ≫ 人材の確保と育成体制の強化
- ≫ メディア戦略、競合対策の強化

















# セグメント別業績 2-2. レンタル事業



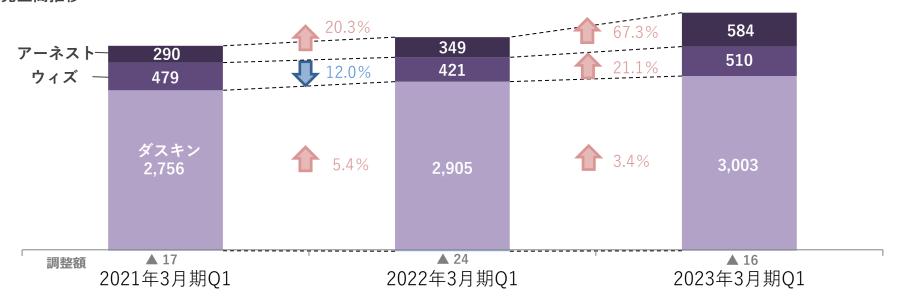


- 【売上高】ダ)ダストコントロール商品部門での売上高微増 ケアサービス部門では事業拡大により売上高増加
  - ウ)飲食店の営業再開に伴い停止していた定期納品が回復し、売上高増加
  - ア)ワクチン職域接種会場運営の受注好調により大幅に売上高増加

#### 【営業利益】ウ・ア)売上高増加に伴い営業利益が増加

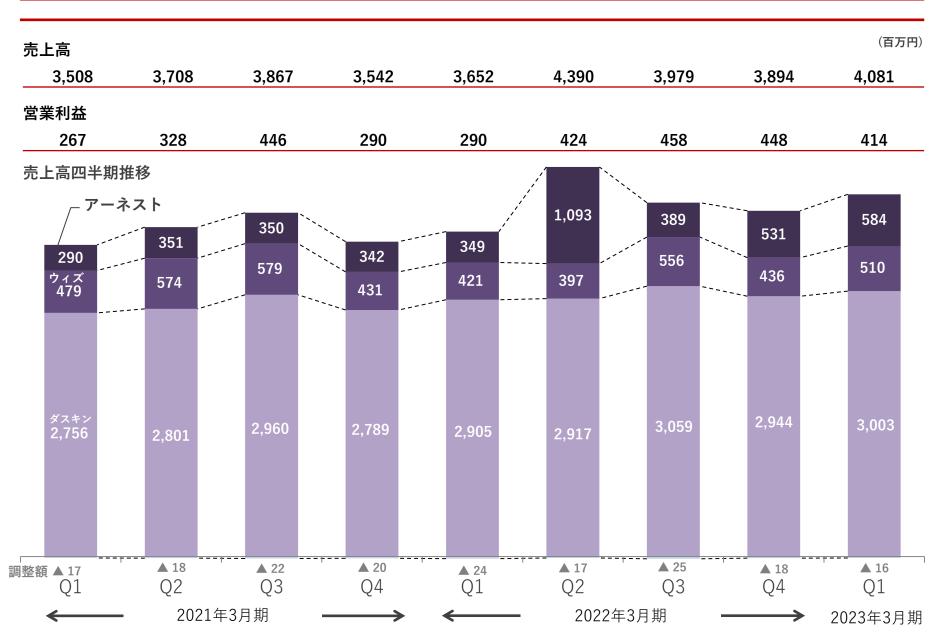
			汪)ダ:ダスキン事業 ウ:ウィス事業 ア:㈱アーネスト
売上高			(百万円)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3,508	3,652	4,081
営業利益			
	267	290	414

#### 売上高推移



### 2-2b レンタル事業 売上高/営業利益の四半期推移





#### 2-2c レンタル事業 第52期以降の重点施策



≫ ㈱ダスキンとの資本業務提携による計画推進

⇒ケアサービス部門:提携後の71事業 (※) 追加に加え、39事業を追加

⇒ヘルスレント部門:提携後の4店舗出店に加え、新たに6店舗を出店

≫ ダスキン事業(ダストコントロール商品部門): Face to Faceでの顧客接点重視への原点回帰

≫ ウィズ事業:組織体制強化および感染症の影響で中止していた代理店開拓の再開

(※) 2022年6月末時点の拠点数













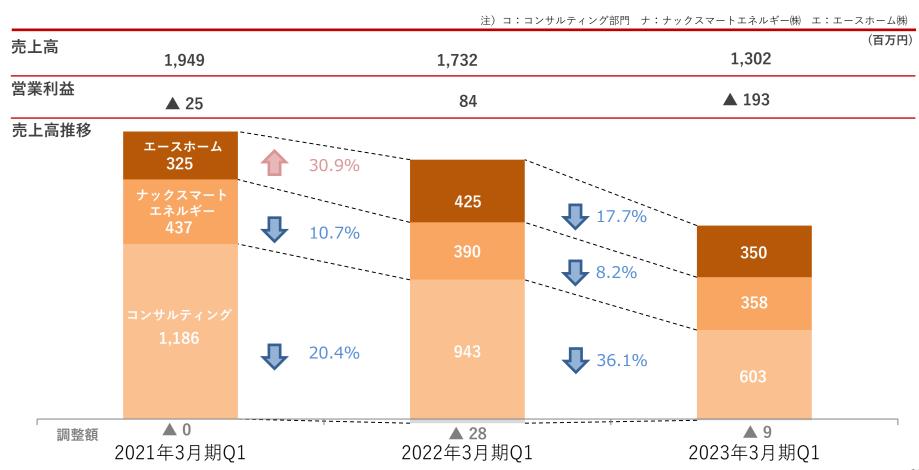


### 2. セグメント別業績 2-3. 建築コンサルティング事業





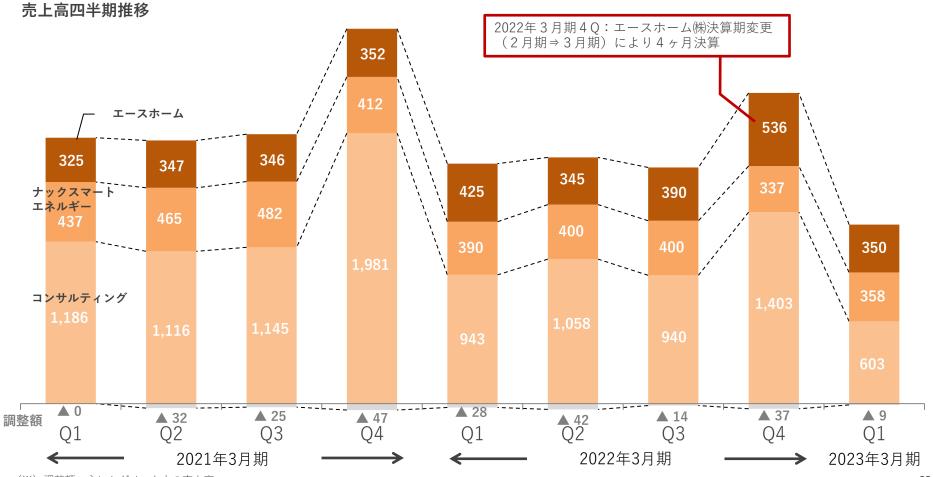
- 【売上高】コ)建築費高騰やコロナ関連融資返済開始等による顧客の購買力低下により大幅減少
  - ナ)長期化する半導体不足の影響による工期遅延により減少
- エ) 加盟店での上棟数減少に伴う卸売減少および共同開発商品の反動減により減少 【営業損益】コ) 売上総利益率の高いコンサルティング部門での売上高減少に伴い減少

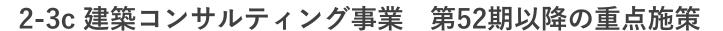


### 2-3b 建築コンサルティング事業 売上高/営業利益の四半期推移



売上高								(百万円)
1,949	1,896	1,950	2,699	1,732	1,760	1,717	2,239	1,302
営業利益								
<b>▲</b> 25	138	188	506	84	212	113	461	<b>▲</b> 193







- ≫ コンサルティング部門:中期経営計画の実行および会員への研修強化、無料会員制度の導入 中核業務以外でのBPOやSDGsの切り口も活用した営業活動の展開
- ≫ ナックスマートエネルギー㈱:脱炭素社会実現に向けた国や自治体の各種施策を追い風に、 住宅市場向けの顧客をメインターゲットに業容拡大
- ≫ エースホーム㈱:加盟店支援の強化およびナックとの協働による新サポートサービスの試行

### Think Tank For Construction







ナックスマートエネルギー類



# 2. セグメント別業績2-4. 住宅事業

### 2-4a 住宅事業 売上高および営業利益推移



- 【売上高】ケ)土地価格高騰による仕入苦戦に伴う販売在庫減少により売上高減少
  - ジ)一棟単価の高いKUNIMOKU HOUSE事業での完工棟数減少により売上高減少
- 【営業損益】ケ)売上高減少に伴い営業利益も減少
  - ジ)ウッドショックの影響による売上総利益率低下に加え、前年同期にイベントを 抑制していた反動減による広告宣伝費の微増もあり、営業損益は減少

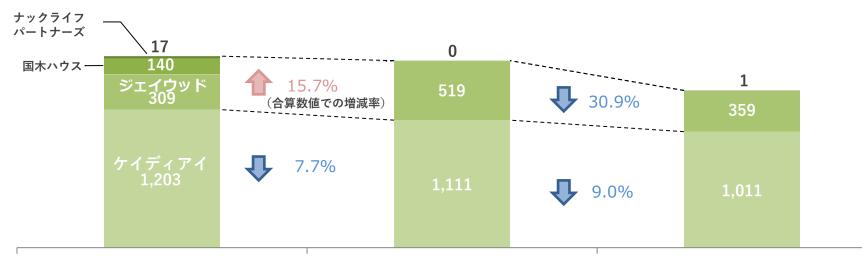
注) ケ:(株)ケイディアイ ジ:(株)ジェイウッド

	<b>▲</b> 156	<b>▲</b> 114	<b>197</b>	
営業利益				
	1,670	1,631	1,371	
売上高				(百万円)

売上高推移

注) 2022年3月期 (株ジェイウッドが(株)国木ハウスを吸収合併

(数値は合算して記載、KUNIMOKU HOUSEブランドとして事業存続)



2021年3月期Q1

2022年3月期Q1

2023年3月期Q1

### 2-4b 住宅事業 売上高/営業利益の四半期推移

1,207

Q4

**A** 0

03

2021年3月期



1

Q1

2023年3月期

売上高								(百万円)
1,670	3,051	2,562	3,057	1,631	2,732	2,771	3,551	1,371
営業利益								
▲ 156	72	<b>4</b>	163	<b>▲</b> 114	53	142	152	<b>▲</b> 197
	推移 クライフ トナーズ 11		1			(株)ジェイウッドが して記載、KUNIM		
코노··· · · · ·	1,025	2 274	416	<b>.</b>	1,055	1 //	2,005	i 1

0

Q1

**A** 0

Q2

2022年3月期

Q3

Q4

02

国木ハウス

17

140

ジェイウッド

ケイディアイ

Q1

調整額

### 2-4c 住宅事業 第52期以降の重点施策



≫ (株)ジェイウッド:移動モデルハウスやWeb対策、紹介獲得のための各種施策の実行 KUNIMOKU HOUSE事業での、廉価型企画住宅や狭小地3階建てプラン による新たな層の取り込み

≫ (株)ケイディアイ:売上高増加と収益性強化を目的とする営業エリア拡大の進行および、

注文住宅事業や中古マンションのリフォーム再販事業への展開

#### **KDI-HOME**

Kindness, Development, Integrity

### 』 株式ジェイウッド



#### KUNIMOKU HOUSE

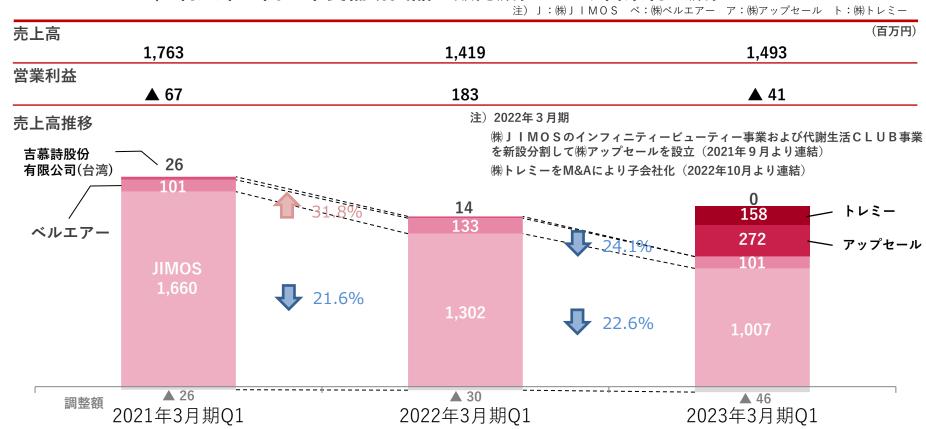


# セグメント別業績 2-5. 美容・健康事業

### 2-5a 美容・健康事業 売上高および営業利益推移



- 【売上高】亅)アップセールの新設分割による減少分を除くと新規顧客獲得の好調もあり微増
  - べ)栄養補助食品の顧客数減少により前期比で減少
  - ア)医薬品事業譲受するも、ヘアケア事業で流通減および価格改定により売上高減少
- 【営業利益】」)新規顧客獲得の好調による積極的な広告投資の前倒しにより営業利益減少
  - べ)利益率の高い栄養補助食品の販売減少により営業利益減少



### 2-5b 美容・健康事業 売上高/営業利益の四半期推移



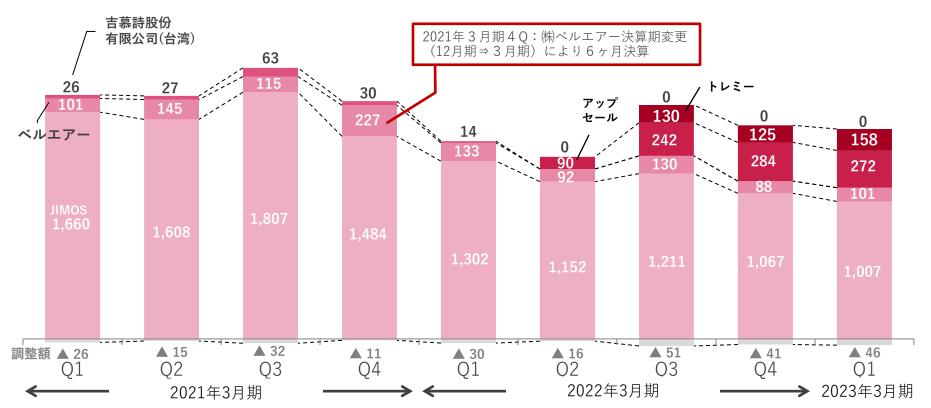
売上高								(百万円)
1,763	1,765	1,954	1,730	1,419	1,319	1,658	1,524	1,493
営業利益								
<b>▲</b> 67	▲80	158	112	183	128	193	▲353	<b>4</b> 1

売上高四半期推移

注) 2022年3月期

(株) J I M O S のインフィニティービューティー事業および代謝生活CLUB事業を新設分割して(株)アップセールを設立(2021年9月より連結)

(株)トレミーをM&Aにより子会社化(2022年10月より連結)



### 2-5c 美容・健康事業 第52期以降の重点施策



≫ ㈱ JIMOS : 積極的な投資の実施による新規顧客獲得および新商品開発

前期に販売を開始したブランド「SINN PURETÉ」のさらなる浸透と拡販

当期吸収合併したブランド「豆腐の盛田屋」の販売強化

≫ ㈱ベルエアー : 販路拡大を目的とする販売形態多様化および代理店制度への業態転換

≫ ㈱トレミー :OEM事業に加えたODM提案の積極展開、垂直連携によるメリットの最大化

≫ ㈱アップセール:主力であるECモール販売の最適化

第三類医薬品「アユミンS」を活用した新規顧客獲得およびLTVの向上











旧 coyori



ベルエア-



SINN PURETÉ natural & organics



**UP SALE** 

### 3.2023年3月期の業績予想

### 3-1 連結業績予想



- ≫2022年3月期に対し、減収増益の計画
- ≫2022年3月期に引き続き人的資本や新商品・新サービス、販促活動等、 顧客獲得のための積極的な先行投資を予定

						(百万円)
				2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額
売	上		高	60,000	54,924	+ 5,075
営	業	利	益	3,000	2,760	+ 239
経	常	利	益	3,000	2,792	+ 207
親会	· 社 株 主 に 期 純	ニ帰属す 利	っる 益	2,000	1,708	+ 291
E	Р		S	89.12 円	76.17 円	+ 12.95 円

### 3-2 連結業績予想:セグメント別売上高



(百万円)

			(百万円)
	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額
クリクラ事業	15,000	15,019	<b>1</b> 9
レーンタール事業	16,200	15,916	+ 283
建築コンサルティング事業	8,500	7,449	+ 1,050
住 宅 事 業	12,000	10,686	+ 1,313
美容・健康事業	8,300	5,921	+ 2,378
消 去 調 整 他(新規・M&A等を含む)	_	▲ 69	_
合 計	60,000	54,924	+ 5,075

### 3-3 連結業績予想:セグメント別営業利益



(百万円)

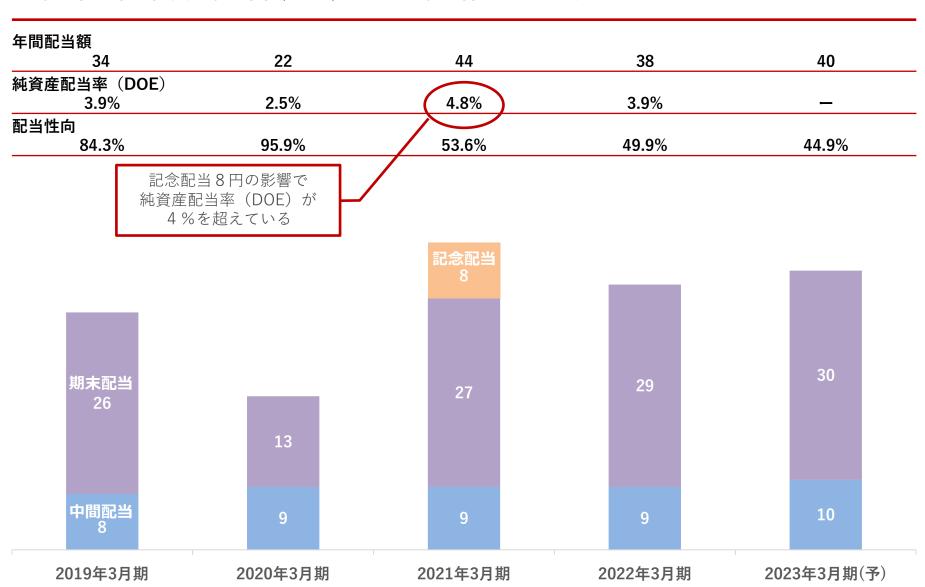
			(白万円)
	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	1,500	1,269	+ 230
	(10.0%)	(8.5%)	(+ 1.5 pt)
レンタル事業	1,600	1,621	▲ 21
	(9.9%)	(10.2%)	(▲ 0.3 pt)
建築コンサルティング事業	1,000	872	+ 127
	(11.8%)	(11.7%)	(+ 0.1 pt)
住 宅 事 業	230	233	▲ 3
	(1.9%)	(2.2%)	(▲ 0.3 pt)
美容・健康事業	350	151	+ 198
	(4.2%)	(2.6%)	(+ 1.7 pt)
全 社 費 用 等 (新規・M&A等を含む)	<b>1</b> ,680	<b>▲</b> 1,387	▲ 292
合 計	3,000	2,760	+ 239
	(5.0%)	(5.0%)	(▲ 0.0 pt)

# 4. 配当





#### 配当方針:純資産配当率(DOE) 4%かつ配当性向100%以内

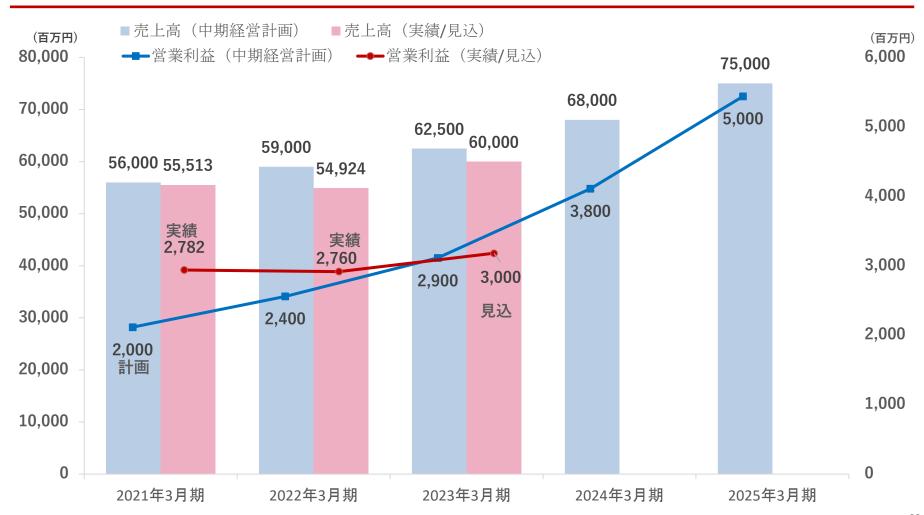


# 5. 中期経営計画

#### 5-1 中期経営計画の状況



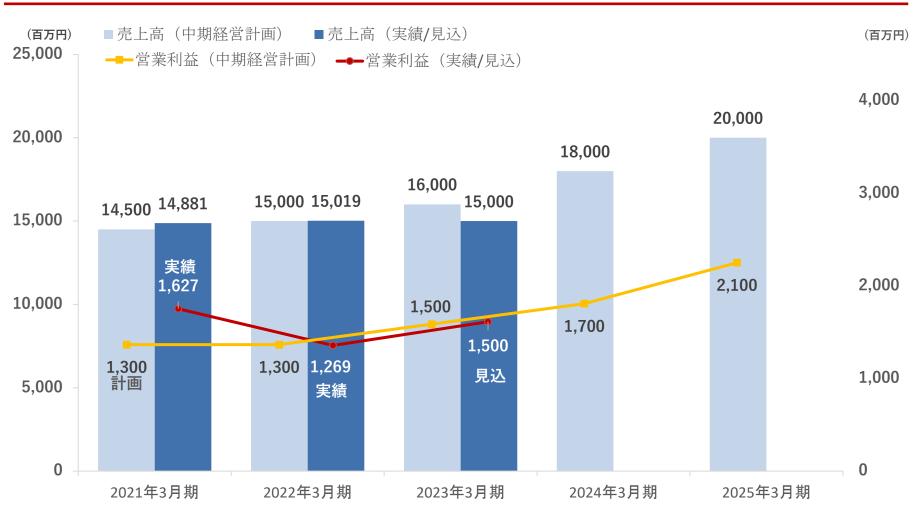
- ≫ 2023年3月期は引き続きクリクラ事業やレンタル事業を中心に積極的な先行投資を予定。
- ≫ 前期比増収増益での計画となるが、中期経営計画に対しては減収増益を見込む。



## 5-1 中期経営計画の状況(クリクラ事業)



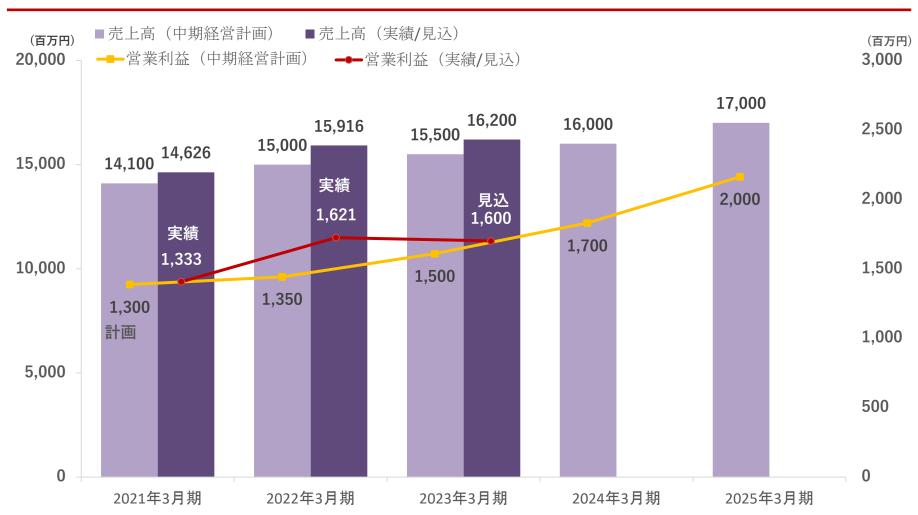
- ≫ 前期比増益での計画
- ≫ 中期経営計画に対しては減収を見込む



# 5-1 中期経営計画の状況(レンタル事業)



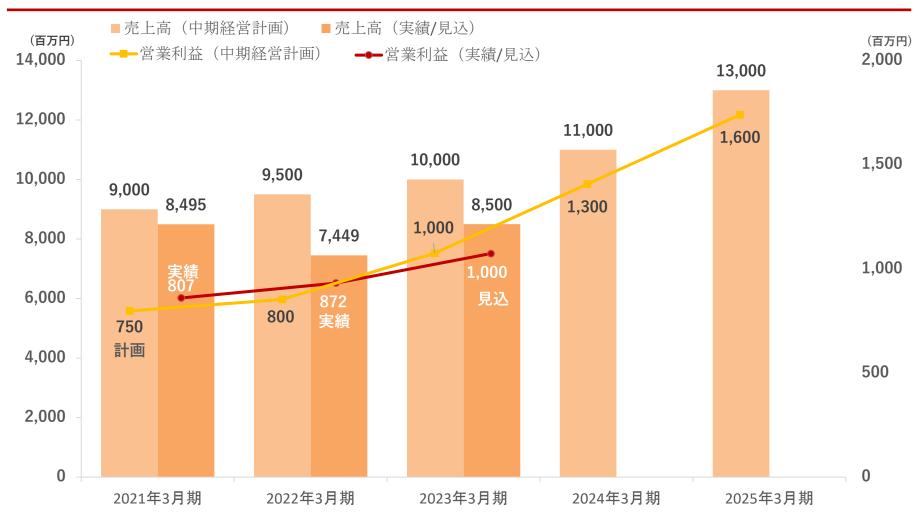
- ≫ 前期比増収減益での計画
- ≫ 中期経営計画に対しては増収増益を見込む







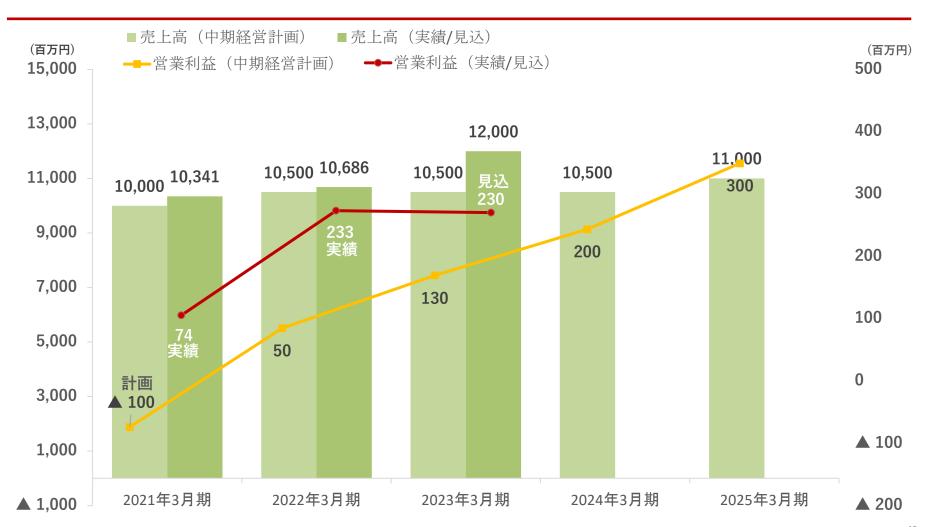
- ≫ 前期比増収増益での計画
- ≫ 中期経営計画に対しては減収を見込む



# 5-1 中期経営計画の状況(住宅事業)



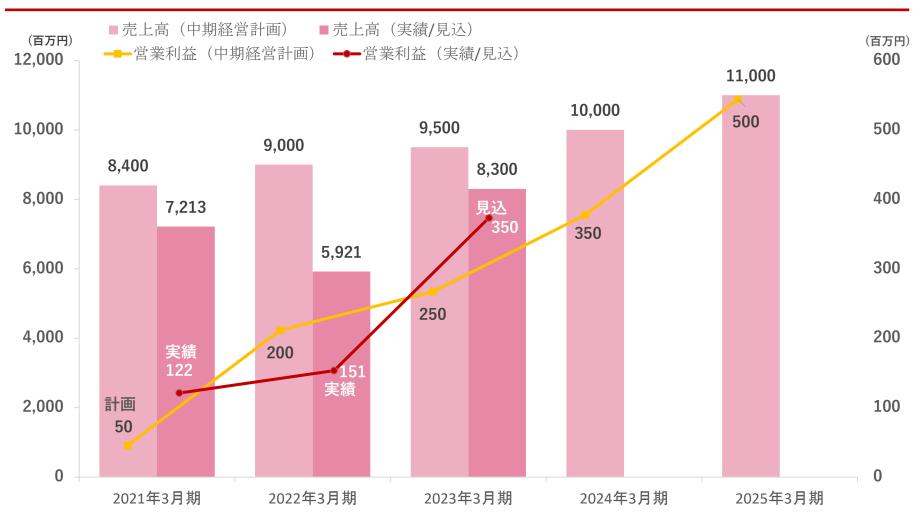
- ≫ 前期比増収減益での計画
- ≫ 中期経営計画に対しては増収増益を見込む



## 5-1 中期経営計画の状況 (美容・健康事業)



- ≫ 前期比増収増益での計画
- ≫ 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



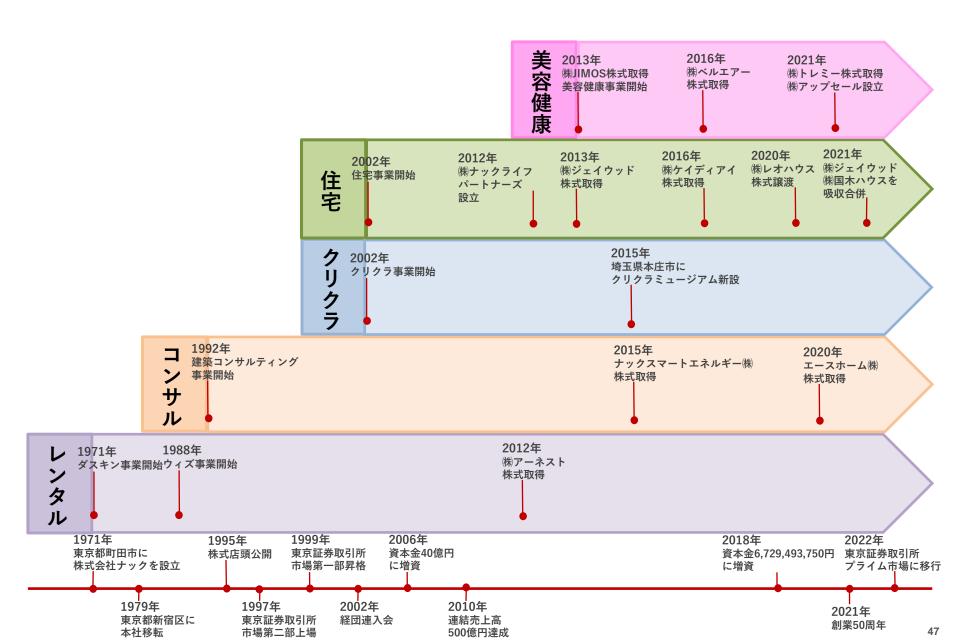
# 6. 会社概要



(2022年3月末 現在)

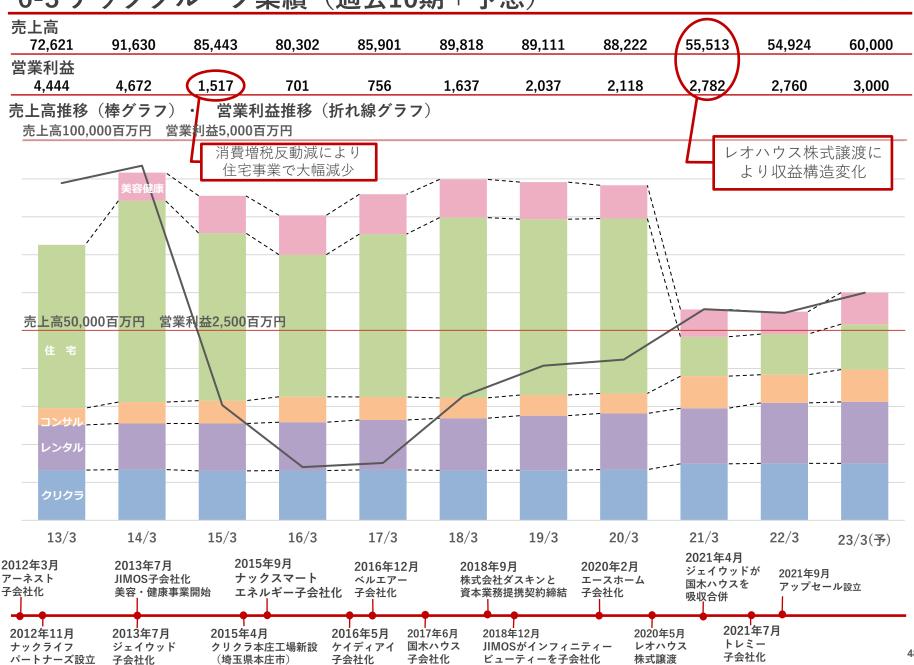
	(2022年3月末 現在)
商号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)
所 在 地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル42階
設立	1971年 5 月20日
代 表 者	代表取締役社長 吉村 寛
連結子会社	レンタル 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)  フンサル ナックスマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生) 株式会社 JIMOS (美容・健康事業) 株式会社ベルエアー (美容・健康事業) キオ会社ベルエアー (美容・健康事業) おまき (大会社ベルエアー (美容・健康事業) 株式会社トレミー (受託製造) ※ 2021年7月子会社化 株式会社アップセール (美容・健康事業) ※ 2021年9月設立
従業員数(正社員)	連結1,633名(パートタイマー、アルバイトは除く)
資 本 金	6,729,493,750 円
発 行 済 株 式 数	24,306,750 株 (一単元:100株)
株 主 数	18,497 名(自己名義株式を除く総株主数)





### 6-3 ナックグループ業績(過去10期+予想)





#### 6-4 事業紹介 クリクラ事業



#### 主な構成:㈱ナック クリクラ事業部

- □ 宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の製造・販売
- □ クリクラチェーンの本部を運営(加盟店約500社)
- 11年連続お客様満足度No.1 (2021年12月ニフティ株式会社調べ「宅配水に関する調査」)
- 業界初のHACCP認証、ecoマークを取得、業界初の研究開発専門センター設立
- 2015年4月に埼玉県本庄市に製造工場およびクリクラミュージアム設立

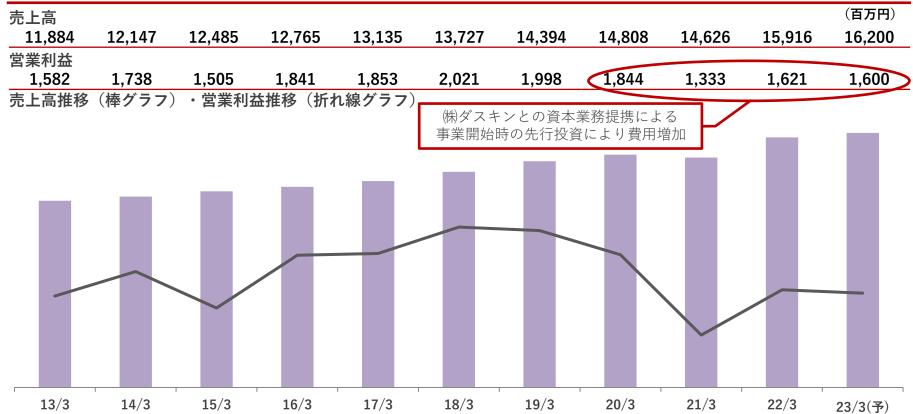


### 6-5 事業紹介 レンタル事業



主な構成:㈱ナック レンタル事業部、㈱アーネスト

- □ ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等
- ダスキンフランチャイズディーラー売上No.1 (約1,900社中)
- 日本初の厚生労働省承認飲食店向け害虫駆除器「with」
- 2012年3月 ㈱アーネストを子会社化(ビルメンテナンス事業)
- 2018年8月 ㈱ダスキンと資本業務提携契約を締結

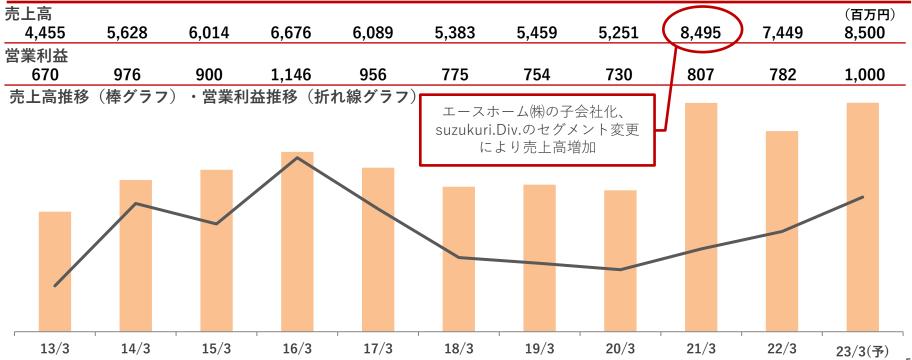


#### 6-6 事業紹介 建築コンサルティング事業



主な構成:㈱ナック 建築コンサルティング事業部、ナックスマートエネルギー㈱、 エースホーム㈱

- □ 地場工務店への建築ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業
- ナック会員工務店 約7,000社
- 2015年9月 ナックスマートエネルギー㈱を子会社化(省エネ商材販売・施工)
- 2017年4月 (株) s u z u k u r i を子会社化(異業種と提携した住宅事業を展開) (2020年4月に住宅事業セグメントから変更後、suzukuri Div.として継続)
- 2020年2月 エースホーム(株)を子会社化(住宅フランチャイズ事業)

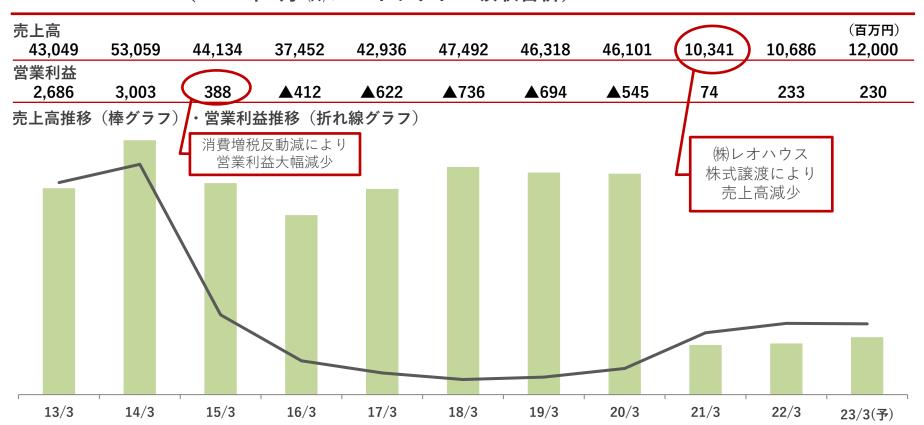


#### 6-7 事業紹介 住宅事業



#### 主な構成:㈱ケイディアイ、㈱ジェイウッド、㈱ナックライフパートナーズ

- □ 戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務
- 2013年7月 (株)ジェイウッドを子会社化(自然素材の注文住宅)
- 2016年5月 (㈱ケイディアイを子会社化(首都圏での分譲・注文住宅)
- 2017年6月 (株)国木ハウスを子会社化(北海道で住宅事業を展開) (2021年4月 (株)ジェイウッドへ吸収合併)



### 6-8 事業紹介 美容・健康事業



主な構成:㈱JIMOS、㈱ベルエアー、㈱トレミー、㈱アップセール

- □ 化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売
- 2013年7月 (株) JIMOSの子会社化により美容・健康事業参入 40~60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力
- 2016年12月 (株)ベルエアーを子会社化(サプリメント販売)
- 2021年7月 (株)トレミーを子会社化(化粧品の受託製造)
- 2021年9月 (株)アップセールを設立

